

9 都市基盤・まちづくり

	タイトル	意見等
1	鮎喰川の西側の土手について	特に不動橋～中鮎喰橋間のセンターラインのない区間について、道路端の舗装の痛みが目立ちます。また、円滑なすれ違いが困難にも関わらず、大型トラックやダンプが頻繁に通行しているようです。道幅が十分でないにも関わらずこのような大型の車両が道路端ギリギリを通行していることも舗装の劣化の一因と思われます。ところどころ穴も空いており、段差も目立ちます。大型車両の通行を制限するか舗装の修繕をお願いします。
2	JR四国について	お世話になっております。 徳島住みにくいです。 川が多く、橋によるものも多いと思いますが、ソフト面での対応が杜撰であることも多いと感じ始めました。 JR四国にも何度も意見しておりますが、徳島駅西側を車操場と勘違いしているのかあえて通勤時間帯に車両を出し入れしており、5分以上もかかることが信じられません。 また、道路の信号も何ら考えられておらず、県警に意見しても改善が見られません。 車線数を増やしても右左折専用レーンのため使用率が低く、人口や車両数の割に渋滞が異常に多く、環境への負荷も如何ほどであろうかと思うばかりです。 市は非常に対応が杜撰でしたが、県はいかががでしょうか？電車を汽車と呼ばないといけないのも県民性でしょう。。 電車が遅れるのが普通なのも海外だから仕方がないのかもしれませんが。 日本であって、日本ではない県が徳島なのだと思わなくてもよいように少しでも改善を願います。
3	四国新幹線の実現	○四国新幹線の実現においては、長期的な将来の展望に立って超伝導リニア四国新幹線です。
4	四国新幹線について	2026年8月7日、四国新幹線が国土交通省の調査対象になりました。その点についてはうれしく思っています。 同じ日に、東九州新幹線も調査対象として選ばれました。 そこで、瀬戸大橋ルート四国新幹線と山陽新幹線と東九州新幹線の接続による徳島から広島・山口・博多・大分・宮崎・鹿児島の所要時間の変化についても徳島県で調査して県民に説明すれば、県民にも納得してもらえんと思います。
5	四国新幹線	新ホール同様、税金の無駄遣いはこれ以上やめてください！ 高速道路の完全四車線化、LCCへの乗り入れが先です！ なぜそれが理解できないのか不思議でなりません！
6	四国八の字高速道路ネットワークの整備促進について	○後藤田正純徳島県知事は四国八の字高速道路ネットワークの整備促進については、香川県知事さんを通じて、国土交通省道路局長にお願いをしなければならない。そして、四国八の字高速道路が圏央道、東京外郭環状自動車道、東海環状自動車道に匹敵するものでなければならない。

9 都市基盤・まちづくり

	タイトル	意見等
7	徳島駅周辺の新ホール計画に合わせた「全天候型アーケードによる中心街1本化」とエリア別活性化の提案	徳島駅周辺の活性化と、若者が「駅前に行きたい、歩きたい」と思えるコンパクトシティの実現に向け、新町西地区の新ホール整備を契機に、中心市街地を「街全体が一つの商業施設のように楽しめる空間」として再構築することを提案します。 第一に、徳島駅から新ホール、東新町商店街までの主要な歩行ルートを、アーケードやガラス製キャノピーなどで全天候型につなぎます。一方、新町川や藍場浜公園は屋根を設けず、徳島らしい川や空の開放感を残します。雨や猛暑の日でも、買い物・イベント・飲食を歩いて楽しめる環境を整えることが目的です。 第二に、各エリアの役割を明確にします。駅・アミコ周辺は買い物やトレンド、新ホール・藍場浜周辺はイベントや交流、東新町はufotable CINEMAを核にアニメ・ゲーム・音楽・アートなどのカルチャー、ポップ街は飲食を中心としたグルメエリアとして再生します。 さらに、駅周辺には若者向けの海外ブランド、コスメ、スニーカーなどを誘致し、アミコ・徳島三越とも連携して期間限定ショップや体験型イベントを開催します。最初から常設店だけを求めず、空き店舗を活用したポップアップや社会実験から始め、需要の高い店舗の定着につなげます。 新しい大型商業施設を一つ造るのではなく、既存の街、新ホール、商店街、川、公園を一本の歩行動線で結ぶことで、県外客や若者が街中を回遊し、滞在・消費する仕組みをつくります。新ホール整備を単体で終わらせず、徳島駅周辺全体を「歩いて楽しめる街」へ変える契機として検討していただきたいです。
8	白鷺橋架替工事に関する県の回答はダメです	8月5日付で 白鷺橋の架け替えに関するいくつかの質問への回答があった。当方も立江川の工事関連で数回疑問点を提示したが これらを確認の上で改めて県に抗議する。 1. 工事は非出水期に施工する・・・過去に橋脚の撤去工事は出水期の工事として発注していた、結局工期変更して非出水期の施工とし、しかも当初予定数量を減している。そのため いまだに旧橋脚、橋台が残置されている。 2. 旧橋撤去については 橋台新設工事と一体的に施工する必要があるとの説明であるが 1でも指摘の通り 当初は そのような区分は無く すべて一括撤去の発注だった。この時の現場の工事看板でも その表記であった（知事にもその写真を送付済）、よく確認せよ、発注時のミスだったということか？計画性も感じられないし。 3. 多数の物件で指摘しているが 現場周辺の支障物は設計時点で発注者・設計者が調査し 適切な施工ができるよう設計図面に反映させることとなっている（国交省指針他）。それがなく 受注した施工業者の責任で調査させているのは 責任転嫁、職務怠慢。 4. 完成時期は未定とのことであるが 県土の強靱化を進めているのに なんとお粗末な行政だろうか？ 過去の浸水被害、また橋が河川断面を阻害していると説明しておきながら この無責任さは なんだろうか？口先だけの強靱化か？ 千葉県での洪水被害を見ても 河川、堤防、橋梁部の強化は急がれるのは明白、着手している事業は早急に進行を推進するべき。その認識を持ってない職員は交代して欲しいし組織の見直しも要求する。

9 都市基盤・まちづくり

	タイトル	意見等
9	徳島自動車道・徳島南部自動車道・阿南芸自動車道等の整備促進について	○後藤田正純徳島県知事は徳島自動車道・徳島南部自動車道・阿南芸自動車道等の整備促進については、ハード面及びソフト面の両面に渉る整備促進をしなければならない。 ※具体的にはハード面では、徳島自動車道（鳴門JCT～川之江東JCT間）における早期の四車線化の運用の開始並びに徳島自動車道の「阿波市場スマートIC」の早期の開業、徳島南部自動車道（徳島JCT～徳島津田IC間）における早期の四車線化の運用開始 ※具体的にはソフト面では、徳島自動車道の上板SAに道路観光案内インフォメーションの開設、松茂PA・阿波PA・池田PAにそれぞれのPAに売店の開業及び軽食コーナーの開業を行う。 ※具体的にはソフト面では、徳島南部自動車道の徳島沖洲IC・小松島IC（仮称）・阿南ICの近くにそれぞれのICに、徳島南部自動車道と連動する道の駅の開業を行う。 ※徳島自動車道を鳴門ICを介して神戸淡路鳴門自動車道と一体となつて、名神高速道路・新名神高速道路・山陽自動車道・中国自動車道等の全国的高速道路ネットワーク網に組み入れる。 ⇒企業立地の推進、物流流通の円滑化、観光の振興、交通運輸の発展、地域間交流の推進
10	関西圏・山陽圏双方との結びつきを強化する四国新幹線の段階的・現実的推進案	徳島県におかれましては、近畿圏に最も近い立地を生かした広域経済圏の構築と交通網の整備にご尽力されていることに深く敬意を表します。四国新幹線の実現に向け、国の予算化を現実のものとするための戦略的な提言をいたします。 四国新幹線の議論において、本県では「明刺海峡・紀淡海峡ルート」か「岡山ルート（瀬戸大橋）」かが論点となりますが、国の早期事業化（整備新幹線格上げ）を勝ち取るには、すでに橋梁インフラが存在する「岡山分岐・瀬戸大橋ルート」からの第一段階整備が最も現実的で近道です。 瀬戸大橋の下段に存在する未利用空間に単線の標準軌を敷設し、「単線フル規格」で宇多津・坂出ハブへ繋ぐ方式を採用すれば、海峡部の新規建設費を回避し、全体事業費を大幅に圧縮できます。この四国幹線の基盤を早期に確立させた上で、香川県高松市から徳島方面への段階的な延伸（高德線軸の活用・新線整備）を図ることが、本県にとっても最も投資効率が高いアプローチとなります。 このルートが早期実現することにより、本県は関西圏のみならず、山陽新幹線を介した「広島・博多方面」とのダイレクトな高速鉄道網を手に入れることができます。これまで手薄だった中国・九州地方からのインバウンドや観光客を徳島へ呼び込む強力な動機付けとなり、阿波踊りや鳴門をはじめとする観光資源の価値を再引き上げします。さらに、四国東部の産業・物流の速達性向上にも寄与します。 「将来の関西直通構想」を視野に入れつつも、「瀬戸大橋活用・単線フル規格」を四国全体の共通方針として後押しすることが、結果として本県への新幹線延伸を最も引き寄せる選択肢になると確信いたします。

9 都市基盤・まちづくり

	タイトル	意見等
11	徳島を住みたくなる場所へ	・なんばから林間田園都市行きの特急「りんかん」みたいな特急列車を作ってほしい 観光地が少ないため乗車料金値段は割安で。 徳島駅前～かずら橋への観光客のために、山岳地帯の景観を楽しみながら運行できる徳島～三好にかけての特急列車を作ってほしい。 チケットは現地購入(ネット苦手の人のために)、電話での予約とインターネットでの24時間販売。 例えば、近鉄みたいになんばから奈良に行くみたいに特急列車の中で駅弁食べるなど徳島駅前に駅弁を購入して特急列車の中で食べれるようにしてほしい。 三好市に住んでる人も徳島駅前に行きやすくなる。 徳島市内の高校や大学。進学状況など。 県外の人であれば徳島の郷土料理を特急列車の中で楽しめると思います。この弁当を駅前で約700～1000円程度で買って徳島～三好までの特急列車の中で食べるとか県外の人にとっては最高！だと思います。列車の中はWiFi付きは必須。旅行中、列車の時間調べるとかでインターネット使う人多いためです。 経路としては徳島市眉山の山のふもとからJR四国に並列して特急列車を運行させ、三好市まで運行できるようにするのはどうでしょうか。徳島の山岳、風景を見ながら駅弁を食べて、特急列車の中では自分の娯楽を楽しむ自分時間に充てることが出来ます。 駅弁を購入する場所ををポッポ街などの使用していない店舗を改装して県外の人がわかりやすくして気軽に入り安い所、雰囲気のある場所にすると、ポッポ街も昔のにぎやかさを取り戻すと思います。その店舗では駅弁と徳島のお土産も販売すれば、駅弁とお土産の両方を購入できる場所になります。 駅前で徳島の産物を売ること、旅行好きの人にとっては駅弁で手軽に有名な特産物に触れることができます。また、徳島駅前での売上利益も上がると思います。 徳島市内で一人暮らしで住んでる单身の方にとっても徳島駅利用している人であれば、自分のご褒美にワンコインの弁当で美味しかったら、弁当を購入して家に帰ったら食べようと、購入する人も増えるかもしれません。单身者にとって仕事終わりの自炊は負担になるため。